

きらめき

発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL:022-297-5196
FAX:022-297-5198
発行責任者:村上 良智
編集責任者:齊藤 慎也

通建連合『一斉安全休工日（9月）』

実施結果について

今年度における通建連合「一斉安全休工日」の取り組みについては、各職場における安全衛生委員会等の場での協力要請は勿論のこと、ポスター掲示等による啓蒙活動を実施させて頂きました。

今年度3回目となる9月11日（土）の実施結果は、下表のとおりとなります。

TTKグループ		休工対象数	当日実施	読替実施	未実施	実施結果（読替含む）
9月	業務区分割合	117	85 (72.6%)	29 (24.8%)	3 (2.6%)	97.4%
	人数割合	2294	2159 (94.1%)	126 (5.5%)	9 (0.4%)	99.6%
大和グループ		休工対象数	当日実施	読替実施	未実施	実施結果（読替含む）
9月	業務区分割合	56	21 (37.5%)	34 (60.7%)	1 (1.8%)	98.2%
	人数割合	1083	976 (90.1%)	106 (9.8%)	1 (0.1%)	99.9%

当日実施（第二土曜日）と読替実施（第二土曜日以外の当月内土曜日）を含めた実施率は90%台後半と高い水準を維持しており、皆様のご協力に感謝を申し上げます。

ただし、事業区分別に見ると読替実施の割合も依然として高く、同じ職場で働く仲間が一斉に休むことができる環境づくりや取り組みが必要であると考えます。

インフラ東北としては今回の実施結果を踏まえ、現場第一線で働く労働者の負担が一段と高まっている中で、未実施または読替実施となった内容や内訳についても分析を行いつつ、課題の克服に向け積極的に議論を行っていくこととします。

今後も一人でも多くの方に参加頂き、休むことにより心身共にリフレッシュを図り安全労働に繋げるとの観点で、取り組みを継続していきたいと考えますのでご協力をお願いします。



通建連合『一斉安全休工日』 第4回実施日

2021年11月13日（土）

11月は「過労死等防止啓発月間」

情報労連は11月を「過労死等防止啓発月間」に設定し、「過労死ゼロ」実現の重要性の周知・意識啓発を行うことで長時間労働を是正し、安心して健やかに働くことのできる職場環境づくりに取り組むこととしております。

疲れていませんか

不安を抱えていませんか

～こころとからだ、チェックしてみよう～

「コロナ禍による仕事の変化がづらい」「長時間労働が続き休めない」「収入や雇用が不安」など、連合へは、働く者からの切実な声が寄せられています。

ストレスや心身の疲れは誰にでも起こります。
この機会に、ご自身や職場の仲間、ご家族の働き方を見つめ直してみませんか。

脳・心臓疾患の
労災認定基準が見直されました!

労働時間が過労死ライン
(1か月100時間、2～6か月80時間)
より少なくても、
パワハラなど、強いストレスを
加味して総合判断することが
より明確になったんだ。



あてはまることはありませんか?

ストレスの原因

となる事例

- 長時間労働が続いている
- 深夜や休日でも仕事をしていることが多い
- 仕事とプライベートの時間の区別がつけられない
- 仕事の作業環境がよくない
- 仕事の内容や仕事量、役割が大きく変わった
- 仕事で大きな失敗をしてしまい責任を問われた
- 職場での孤独感や疎外感を感じている
- ハラスメントを受けている
- 収入や雇用に不安を感じている
- 周囲に相談相手がいない

心当たりはありませんか?

メンタル不調時

に表れやすい症状の事例

- 遅刻や早退をしてしまうことが増えた
- 月曜日(休み明け)に突発的に休むことがある
- 最近、仕事のメ切に遅れることが多い
- 以前と比べて疲れやすい
- 居眠りをしてしまう、眠れない・夜中に目が覚める
- 頭痛や腹痛、吐き気など、体調がすぐれない
- 食べる量が減った、食欲がない
- 何かと自分を責めてしまう
- 急に気分が高揚したり、沈んだりする
- 何をやってもつまらない

あなたの結果はいかがでしたか

このチェックリストで心当たりがある場合には、労働組合や職場の仲間、精神科・心療内科のお医者さんなどに相談してみましょう。

こころの耳 相談窓口

<https://kokoro.mhlw.go.jp/agency/>

ハラスメント悩み相談室

<https://harasu-soudan.mhlw.go.jp/>

ひとりぼっちで抱え込まないで



長期化するコロナ禍における働き方や生活の変化によって、気が付かないうちに不安やストレス、疲れが溜まっていることもあるため、ご自身や職場の仲間、ご家族の働き方を見つめ直す機会として上記のセルフチェック表を活用してみてもはいかがでしょうか。